

放課後英語学習会（ニセコ高校）参加

日時：令和5年11月7日（火）16:00～17:00

ニセコ高校では月に数回、有志が集まり、ALTの先生と一緒に英語で様々な活動をしています。今回は本校国際交流部2名がその活動の見学をしてきました。



活動場所の様子



この日はクリスマス会の準備中

【参加生徒からの「振り返り」】

★ニセコ高校で火曜日に行われている国際交流活動に参加したが、一人ひとりが楽しく活動していることが印象的だった。私は英語が得意ではないため活動前は緊張していたが、私達にもわかるように説明してくれたり、声をかけてくれたりと、見学していた私も楽しく活動をすることができた。

一番驚いたことは、生徒の方がスラスラと英語を話していたことだ。この活動を通して実践的に英語を話すことで英語のコミュニケーション能力が身についているのだと感じた。また、生徒の中には外国人の方もいたため、お互いに日本語と英語を教え合いながら関わることで、異文化理解や多言語を習得することができるため、実際に一緒に会話をすることが大切だと感じた。

3年生の方は、4年制に行き、長期海外研修をしたいと話していた。将来、日本にも外国人が増えてきて関わる機会が多くなるため、グローバル人材を育成することは今後重要になってくると感じた。

★ニセコ高校の国際交流部のような催しに参加してみて、留寿都高校よりも英語教育に力を入れているのだと感じました。ALTの先生が常駐しているのもそうだし、外国人の生徒が数名いることも日本人の生徒に良い影響を多く与えていると思います。

ニセコは観光業が盛んなこともあり外国人も多いので、日常に異文化が含まれている部分も少なからずあるのではないかと思います。今回ニセコ高校に行ってみて、高校生が英語の歌を歌っているのが印象的でした。確かに自分も覚えている英語の曲は意味をしっかりと繋げられて、覚える単語も多いので、歌を使って言語を覚えるのは効果的なのだと感じました。

他には、ニセコ高校生は積極性があるなという印象を受けました。毎日一緒に学習しているというのもあるのかもしれませんが、一年生から三年生まで、日本人から外国人までみんな隔てなく接していました。ALTの先生にも積極的に話しかけていて、外国語の習得には積極性もかなり関わっているのだと思います。

今回の交流を通じて、これからの生活に深く関わってくる英語を習得するためには単語や文法を覚えるだけでなく、対人で会話することの方が重要なのではないかと感じました。人がいないときには曲やイラストなど、自分に合った方法で英語力を伸ばす努力をしていきたいと思っています。